



平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月12日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 ・大  
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績（平成23年12月1日～平成24年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	480	30.2	△82	—	△134	—	△141	—
23年11月期第2四半期	369	△73.6	△85	—	△129	—	△173	—

(注) 包括利益 24年11月期第2四半期 △133百万円 (—%) 23年11月期第2四半期 △184百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	△3.84	—
23年11月期第2四半期	△4.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第2四半期	8,202	1,195	14.5	32.38
23年11月期	8,629	1,328	15.3	36.00

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 1,191百万円 23年11月期 1,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	845	0.3	165	461.8	54	—	50	△24.6	1.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年11月期 2 Q	37,067,371株	23年11月期	37,067,371株
24年11月期 2 Q	277,500株	23年11月期	277,500株
24年11月期 2 Q	36,789,871株	23年11月期 2 Q	35,361,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等に付いては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年12月1日～平成24年5月31日)における国内経済は、東日本大震災の影響もあり引き続き厳しい状況が続いておりますが、復興関連需要の高まりから設備投資が緩やかに持ち直しているほか、個人消費にも復調の動きが見られました。

当社グループの主要事業の一つである不動産ファンド業界は、J-REITや事業会社において国内不動産物件を取得する動きがあり、レジデンシャル物件に対する需要は底堅く推移いたしました。また約5年ぶりに国内の不動産投資法人の新規上場が行われるなど、不動産投資に対する投資機会の拡大に繋がる動きも見受けられました。また国内株式市場では、日経平均が景気回復期待感から一時10,000円を超える場面もあり持ち直しの兆しも見られました。

このような状況下、新たなファンドの組成を含めファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高のさらなる増加に向け、引き続き販社拡大、機関投資家への営業活動を行いました。またアジア事業においては、昨年12月に設立いたしました中国のフォーチュンリンク社との合弁会社を通じて中国マーケットへの進出を企図する日本の中堅企業を支援するファンドの組成を進め、国内の有望な技術やノウハウを持つ企業のソーシング等を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高480百万円(前年同四半期比30.2%増)、営業損失82百万円(前年同四半期の営業損失は85百万円)、経常損失134百万円(前年同四半期の経常損失は129百万円)、四半期純損失141百万円(前年同四半期の四半期純損失は173百万円)となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は154億円(一部円換算US\$1.00=78.92円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は288億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー等を計上したほか、ファンド組入れ物件の売却によりディスポーザルフィーを計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。その結果、アセットマネジメント事業においては、売上高127百万円(前年同四半期比30.4%減)、営業損失23百万円(前年同四半期の営業損失は41百万円)となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、保有物件の売却による収入及び当社グループが匿名組合出資を行っている特別目的会社(SPC)等が保有する不動産等からの不動産賃貸収入を計上いたしました。証券投資等部門では、(株)FCインベストメント・アドバイザーズにおいて金融商品仲介業務による収益を計上いたしました。その結果、インベストメントバンク事業においては、売上高353百万円(前年同四半期比90.1%増)、営業利益27百万円(前年同四半期比27.5%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### (資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比451百万円減の7,696百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加と、売掛金、未収入金及び販売用不動産等の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比24百万円増の505百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券の時価上昇による増加と中国の合弁会社への出資によるものであります。

以上の結果、資産の部は8,202百万円となり、前連結会計年度末比427百万円減となりました。

#### (負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比275百万円減の5,837百万円となりました。これは主に、借入金の減少等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比18百万円減の1,169百万円となりました。これは主に、長期未払金の減少等によるものであります。

以上の結果、負債の部は7,007百万円となり、前連結会計年度末比294百万円減となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比266百万円減の6,620百万円となりました。

#### (純資産の状況)

純資産の部は1,195百万円となり、前連結会計年度末比133百万円減となりました。これは、四半期純損失の計上と、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、概ね予想通りに推移したため、平成24年4月12日付で修正発表いたしました連結業績予想からの変更はありません。なお、平成24年11月期の通期の連結業績予想につきましても、変更はありませんが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項ありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準

当第2四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

### 3. 連結財務諸表等

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,027	1,278
売掛金	68	25
未収入金	464	12
有価証券	10	10
営業投資有価証券	8	5
販売用不動産	4,218	3,972
仕掛販売用不動産	2,330	2,330
その他	19	60
流動資産合計	8,147	7,696
固定資産		
有形固定資産	27	28
無形固定資産	1	1
投資その他の資産		
投資有価証券	362	376
その他	746	756
貸倒引当金	△657	△657
投資その他の資産合計	451	476
固定資産合計	481	505
資産合計	8,629	8,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,850	1,828
1年内返済予定の長期借入金	3,885	3,661
1年内償還予定の新株予約権付社債	250	250
未払金	27	20
未払法人税等	38	5
賞与引当金	—	7
その他	62	65
流動負債合計	6,113	5,837
固定負債		
長期未払金	1,150	1,130
その他	37	38
固定負債合計	1,187	1,169
負債合計	7,301	7,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	609
利益剰余金	△399	△540
自己株式	△15	△15
株主資本合計	1,326	1,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	8
為替換算調整勘定	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△1	6
少数株主持分	3	3
純資産合計	1,328	1,195
負債純資産合計	8,629	8,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
売上高	369	480
売上原価	111	310
売上総利益	257	169
販売費及び一般管理費	342	252
営業損失(△)	△85	△82
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	8
その他	2	2
営業外収益合計	23	11
営業外費用		
支払利息	66	63
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	67	63
経常損失(△)	△129	△134
特別損失		
固定資産除却損	24	—
事務所移転費用	15	—
その他	0	—
特別損失合計	39	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△169	△134
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	0	2
法人税等合計	3	6
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△173	△141
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純損失(△)	△173	△141



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△173	△141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	7
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△11	8
四半期包括利益	△184	△133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184	△133
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△169	△134
減価償却費	47	43
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	7
受取利息及び受取配当金	△20	△8
支払利息	66	63
為替差損益(△は益)	1	△0
固定資産除却損	24	—
匿名組合分配損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	3	43
有価証券の増減額(△は増加)	1	0
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	4	0
その他関係会社有価証券の増減額(△は増加)	2	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24	204
前払費用の増減額(△は増加)	0	△13
未収入金の増減額(△は増加)	△92	448
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3	6
未払金の増減額(△は減少)	△15	△26
その他	△3	△33
<b>小計</b>	<b>△171</b>	<b>600</b>
利息及び配当金の受取額	20	8
利息の支払額	△64	△62
法人税等の支払額	△14	△34
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△229</b>	<b>513</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15	△2
投資有価証券の売却及び取得による収入・支出	△20	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入及び匿名組合契約終了による支出	△369	—
その他の関係会社有価証券の取得による支出	△2	△12
短期貸付金の回収による収入	100	—
敷金の差入による支出	△40	—
敷金の回収による収入	100	—
その他	4	△1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△244</b>	<b>△16</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10	△22
1年内返済予定の長期借入金の返済による支出	△21	△224
その他	△0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△31</b>	<b>△246</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△507	251
現金及び現金同等物の期首残高	1,102	927
現金及び現金同等物の四半期末残高	595	1,178

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	183	176	9	369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	△9	0	△1
計	190	167	9	367
セグメント利益又は損失(△)	△41	46	△8	△3

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△3
セグメント間取引消去	52
全社費用(注)	△134
四半期連結損益計算書の営業損失	△85

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	127	345	7	480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	6
計	133	345	7	486
セグメント利益又は損失(△)	△23	33	△5	4

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	4
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△106
四半期連結損益計算書の営業損失	△82

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。